

をしてできるのでいいと思います。小さな子が競技をしているとき、大きな子が手伝いをしてくれていたのも、日頃からの関わりで、良く知っているお兄ちゃんがゴールにいてくれることは安心できたと思う』、『年少は年中・年長を見て成長し、年中は年長への憧れと、年少への見本に、年長は責任感と使命感が養われていくと感じた』等の意見が寄せられていた。

9時30分頃になると、年長組の当番が、事務所の放送設備からマイクで『おはようございます。これから外で体操をします・・・』とアナウンスする。体操の時は、当番は前に立って体操のリードをする。2人制の多い当番制であるが、あいかわ保育所では1人制である。3月だけは年中組が、当番の見習いをするので2人制になるようである。朝の体操が終わると所長は、並んでいる子どもたちに『今日と明日の2日間、ナルクのYさん、Oさん、Kさんが、皆さんがどんなことをしているか見にいっしゃいました。よろしくとごあいさつしましょう』と声をかけると、園児たちは、声をそろえて『よろしくおねがいします』・・・朝の体操の時に、園児からご挨拶を受けたのは、調査員初めての経験であった。

調査員は、訪問初日に手作りのおもちゃを持参し、所長にお渡ししたが、二日目の朝、調査員を見かけた園児の一人から『おもちゃ、ありがとうございます』とご挨拶があった。おもちゃのお礼を、園児から受けたのは、調査員初めての経験であった。

中長期計画、年度計画では「食育の推進」が掲げられているが、どの組も給食の時間は明るく、楽しい雰囲気保育室に満ちている。異年齢保育で3歳児～5歳児が同じ机で食事するので、どうしても早く食べる子、遅い子の差がでるが、保育士は遅い子に対しても決して、せかすことなく、ゆっくり食べ終わるまで待っている。嫌いな野菜には時間はかかるが、残さず食べきっている。食べ残しは殆どない。給食に関しても、保護者アンケートで殆どの保護者から満足との回答が寄せられていた。

岐阜市が、中長期計画事業として平成24年度から実施している公立保育所保育研究会は4年目に入り、軌道に乗っている。28年度は「遊び方・用具の使い方のマニュアル作り」を行い、また、園内・外の公開保育が行われている。あいかわ保育所へは市内5事業所の保育士が参加し、あいかわ保育所の保育士は市内4保育所の公開保育に参加している。マニュアルの完成が期待される。

◇改善を求められる点

③ 第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受審したことで、改めてマニュアル・保育内容・環境を丁寧に見直すことができ、問題点や目的が明確になり、職員間で話し合いを持ちながら、全職員で協力し改善してきたことで質の向上につながってきたと感じます。また、地域や保護者の皆様にも支えられていることを実感しました。今後も継続して、保育士・保育所の自己評価を行いながら保育所としての特性を生かし、子ども達の発達を保障し最善の利益につながる保育を実施していきたいと思っております。

④ 評価項目の第三者評価結果 (別紙)